

# 2015年度中間期実績の概要

2015年11月13日

LEAD THE VALUE

## 株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

# 2015年度中間期総括

- 親会社株主に帰属する中間純利益は3,881億円と期初目標(3,800億円)を上振れ
  - のれんの減損はあったものの、マーケティング部門の堅調や株式インデックス投信の評価益実現が牽引
- 中期経営計画で掲げた財務目標については、総じて想定の範囲内で進捗

## 中期経営計画の財務目標の進捗

		14年度	15年度 中間期	16年度 目標
成長性	連結粗利益 成長率	+2.8%	<b>+4.4%*</b> <sup>1</sup>	+15%程度 <sup>2</sup>
	連結ROE	11.2%	<b>10.8%*</b> <sup>1</sup>	10%程度
収益性	連結当期純利益 RORA	1.1%	<b>1.2%*</b> <sup>1</sup>	1%程度
	連結経費率	55.7%	<b>56.3%</b>	50%台半ば
健全性	普通株式等 Tier1比率 <sup>3</sup>	12.0%	<b>12.1%</b>	10%程度

## 1株当たり情報(SMFG連結)

(円/株)	15年度 中間期	前年 同期比	15年度 目標
親会社株主に帰属する 中間純利益	283.89	66.84	555.87
配当	75	+15	150

(円/株)	15/9月末	15/3月末比
純資産	6,548.79	50.08

## 格付(SMBC)

Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
A1/P-1	A/A-1	A-/F1	AA-/a-1+	AA/J-1+

# 2015年度中間期業績サマリー

## P/L

(億円)		15年度 中間期	前年 同期比	15/5月 目標比	15年度 目標
SMFG 連結	連結粗利益	15,127	+626	+227	30,300
	連単差	7,097	+874		
	営業経費	8,522	480		
	持分法投資損益	434	434		
	連結業務純益	6,171	288		
	与信関係費用	241	1,129	309	1,200
	経常利益	6,318	1,487	+118	12,200
	連単差	2,168	+287	132	4,700
	親会社株主に帰属する 中間純利益	3,881	914	+81	7,600
	連単差	1,029	+315	+29	2,400
SMBC 単体	業務粗利益	8,030	248	+30	15,800
	経費*1	3,988	119	112	8,200
	業務純益*2	4,042	367	+142	7,600
	与信関係費用	276	966	226	0
	株式等損益	11	471		
	その他臨時損益	178	+30		
	経常利益	4,150	1,774	+250	7,500
	中間純利益	2,853	1,230	+53	5,200

## SMBC以外の主要グループ会社の 連結粗利益寄与(概数)

(億円)	15年度 中間期	前年 同期比
SMBC日興証券	1,630	+170
SMBCコンシューマーファイナンス	1,150	+90
三井住友カード	1,010	+60
セディナ	830	0
三井住友ファイナンス&リース	720	+60
SMBCフレンド証券	210	50

## SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

(億円)	15年度 中間期	前年 同期比
SMBC日興証券	260	+20
SMBCコンシューマーファイナンス	270	0
三井住友カード	80	+0
セディナ	150	0
三井住友ファイナンス&リース	140	10
SMBCフレンド証券	10	30
東亜銀行*3	90	+90

\*1 臨時処理分を除く \*2 一般貸倒引当金繰入前

\*3 2015年3月、持分法適用関連会社化

# ■ トップライン概要

## 連結粗利益の科目別内訳

(億円)	14年度 中間期	14年度	15年度 中間期	前年 同期比
<b>連結粗利益*1</b>	14,501	29,804	15,127	+626
<b>資金利益</b>	7,636	15,052	7,827	+191
うちSMBC	5,869	11,214	5,719	150
うちSMBCコンシューマファイナンス	730	1,490	780	+40
<b>信託報酬</b>	14	29	14	0
<b>役務取引等利益</b>	4,615	9,967	4,929	+315
うちSMBC	1,571	3,500	1,639	+68
うち三井住友カード	870	1,780	930	+60
うちSMBC日興証券	770	1,730	920	+140
うちセディナ	580	1,160	580	0
<b>特定取引利益+その他業務利益</b>	2,236	4,757	2,357	+121
うちSMBC	828	1,610	663	164
うちSMBC日興証券	680	1,560	700	+30
うち三井住友ファイナンス&リース	540	1,150	630	+80

## 期中平均貸出残高・スプレッド\*2

(兆円、%)	平均残高		スプレッド	
	15年度 中間期	前年同期比*8	15年度 中間期	前年同期比*8
<b>国内貸出*3</b>	48.3	+1.1	0.89	0.06
うち大企業*4	13.6	+0.4	0.58	0.04
うち中堅・中小企業*5	16.4	+0.7	0.83	0.11
うち個人	14.3	0.4	1.45	0.00
<b>国際部門運用資産*6,7</b>	2,209億ドル	+84億ドル	1.21	+0.02

## (参考) SMBCマーケティング部門の粗利益内訳

(億円)	14年度	15年度 中間期	前年 同期比*8
シンジケーション	420	173	5
ストラクチャードファイナンス	221	84	+10
アセットファイナンス*9	153	74	+15
デリバティブ販売	250	101	+18
<b>国内法人ビジネス関連</b>	1,044	432	+38
投資信託	367	153	27
個人年金	127	49	16
一時払終身保険	84	106	+64
平準払保険	74	32	1
<b>国内個人ビジネス関連</b>	652	340	+20
うち振込・E B	922	463	+4
うち外為収益	519	263	+9
<b>国内非金利収益</b>	3,133	1,394	+30
うちローン関連手数料	655	355	+11
<b>国際部門非金利収益</b>	1,175	663	+10
<b>非金利収益</b>	4,308	2,057	+40
うち国内貸出金収益	4,265	2,103	87
うち国内円預金収益	1,209	498	+11
うち国際部門金利関連収益	2,278	1,144	+117
<b>金利収益</b>	8,567	4,155	+14
<b>SMBCマーケティング部門粗利益*2</b>	12,875	6,212	+54

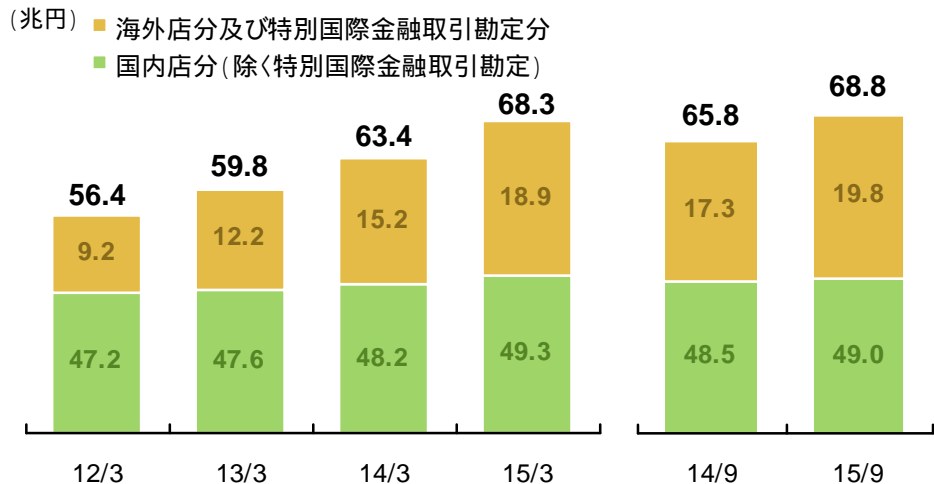
\*1 SMBC以外の内訳は概数 \*2 内部管理ベース \*3 SMBC単体 \*4 GCB本部 \*5 CB本部、エリア企業本部の合算

\*6 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算 \*7 貸出金・貿易手形・有価証券の合計 \*8 金利・為替影響等調整後ベース

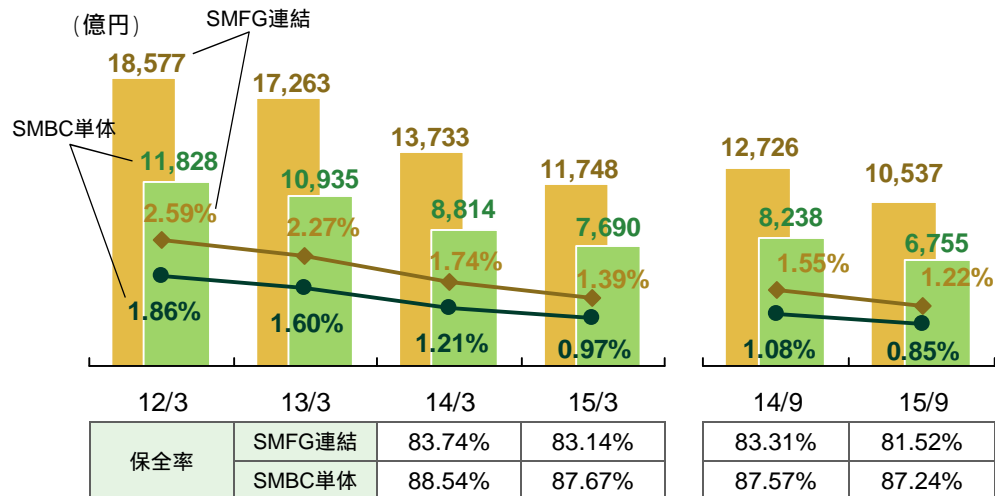
\*9 不動産ファイナンス、金銭債権流動化等

# 主要項目の時系列推移

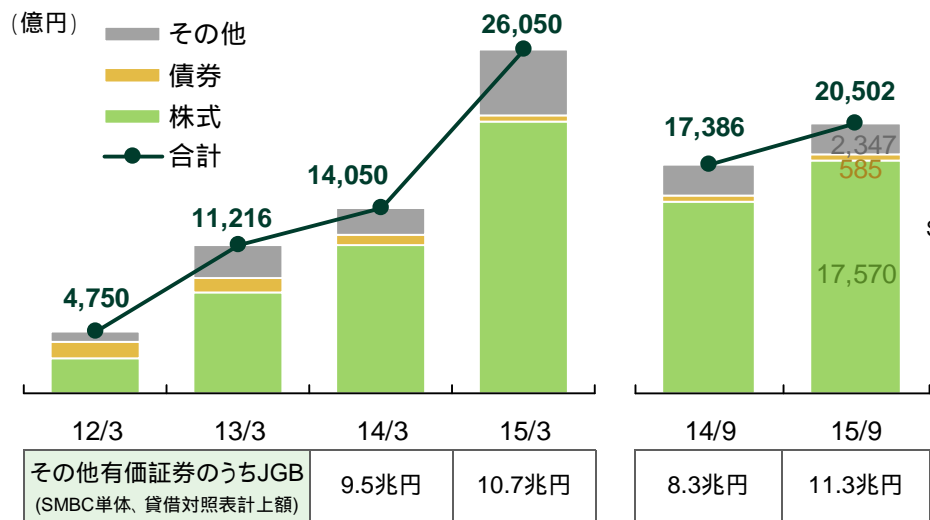
## 貸出金残高 (SMBC単体)



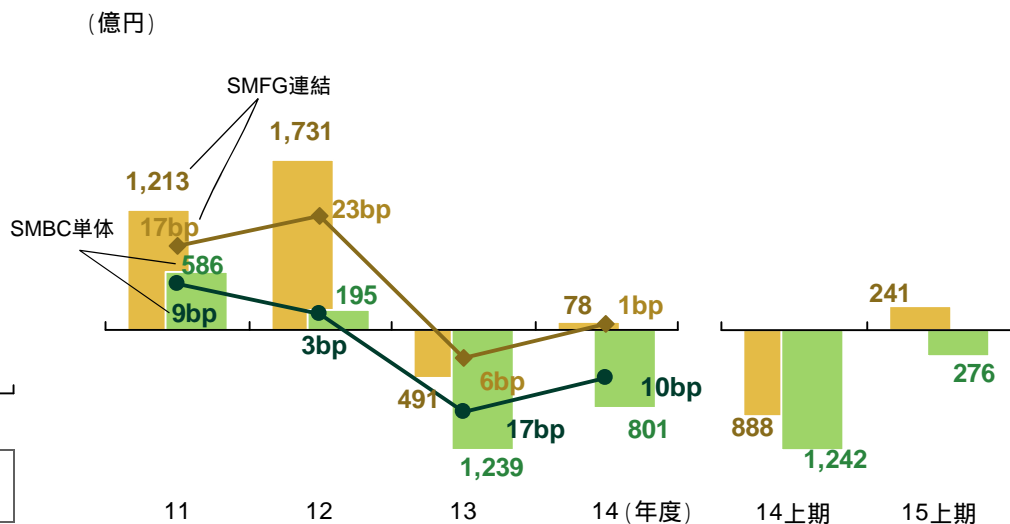
## 不良債権残高及び同比率\*1



## その他有価証券評価損益 (SMFG連結)



## 与信関係費用及び同比率\*2



\*1 不良債権比率 = 金融再生法開示債権残高 (除く正常債権) / 総与信

\*2 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

# SMFG連結部門別実績\*1

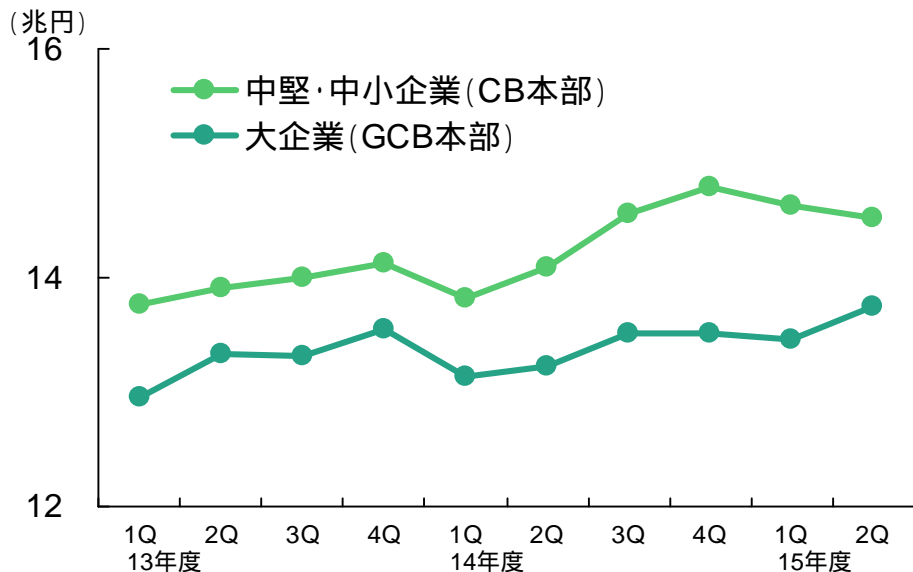
		(億円)	14年度		15年度	前年同期比*2
			14年度中間期	14年度	15年度中間期	
ホールセール部門	粗利益		3,328	7,290	3,434	+93
	経費		1,408	3,006	1,476	89
	業務純益		1,920	4,284	1,958	+4
リテール部門	粗利益		2,233	4,784	2,356	+125
	経費		1,780	3,734	1,882	87
	業務純益		453	1,050	474	+38
国際部門	粗利益		2,827	5,931	3,254	+285
	経費		1,061	2,262	1,249	146
	業務純益		1,766	3,669	2,005	+139
うちマーケティング部門	粗利益		8,388	18,005	9,044	+503
	経費		4,249	9,002	4,607	322
	業務純益		4,139	9,003	4,437	+181
うち市場営業部門	粗利益		2,212	3,748	2,390	+139
	経費		149	307	194	16
	業務純益		2,063	3,441	2,196	+123
うち三井住友ファイナンス&リース	うち粗利益		655	1,370	716	+61
	うち経費		274	579	307	33
	業務純益		391	805	417	+26
うちSMBC日興証券	粗利益		1,530	3,500	1,766	+208
	経費		1,153	2,495	1,322	151
	業務純益		377	1,005	444	+57
うちCF・カード*3	粗利益		2,838	5,761	2,984	+146
	経費		1,804	3,638	1,894	90
	業務純益		1,034	2,123	1,090	+56
合計 (SMFG連結)	粗利益		14,501	29,804	15,127	+626
	経費		8,043	16,593	8,522	480
	持分法投資損益		1	106	434	434
	業務純益*4		6,459	13,105	6,171	288

\*1 内部管理ベース \*2 金利・為替影響等調整後ベース \*3 三井住友カード、セディナ、SMBCコンシューマーファイナンスの合計

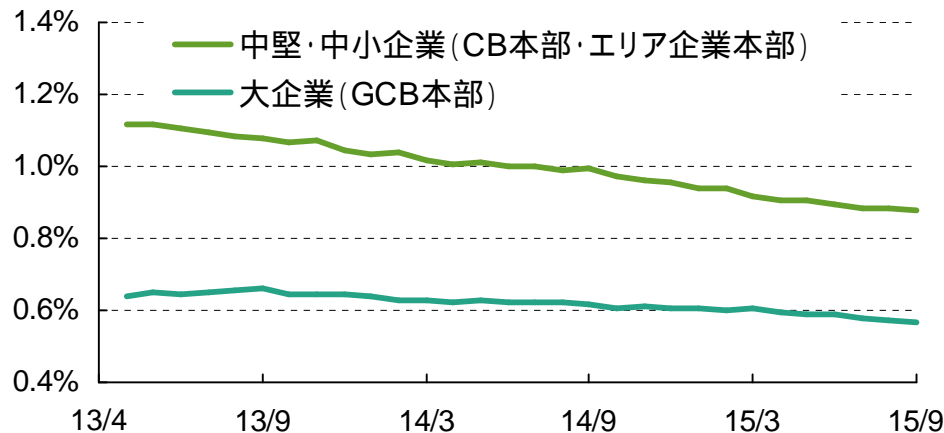
\*4 連結業務純益 = 連結粗利益 - 営業経費 + 持分法による投資損益

# ホールセールビジネス

## ホールセール部門貸出金残高 (SMBC単体)\*1, 2

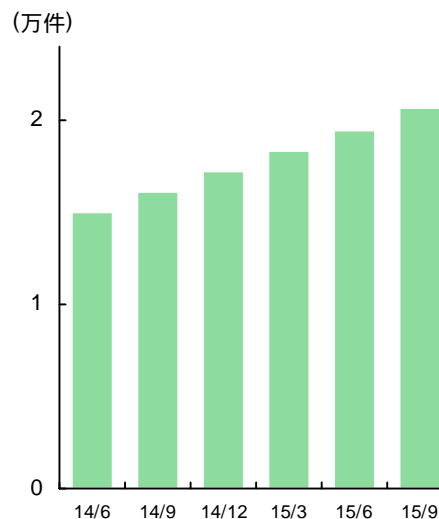


## 国内法人向け貸出金スプレッド (SMBC単体)\*1, 3

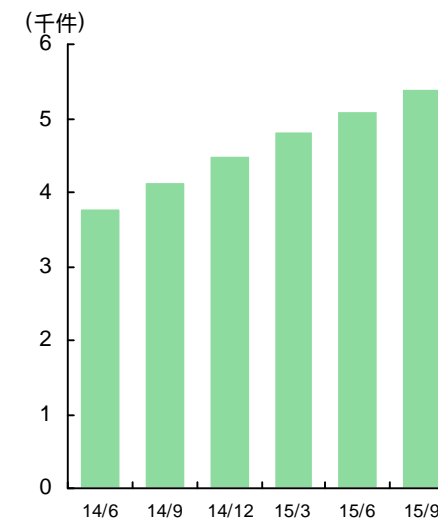


## 銀証連携 (SMBCから日興への法人のお客さまの紹介・仲介)

### 運用業務 (累積件数)



### 投資銀行業務 (累積件数)



## リーグテーブル (15年4月-9月)\*4, 5

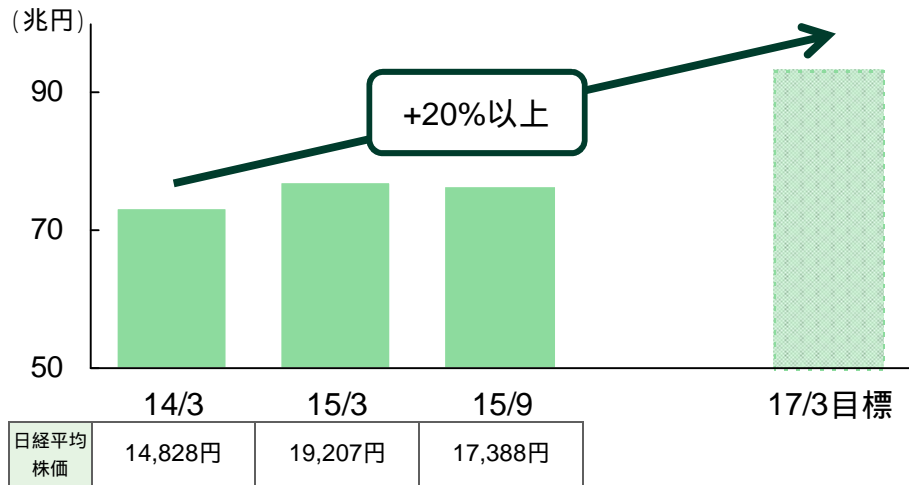
	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額)*6	3位	13.7%
円債総合 (主幹事、引受金額)*7	4位	16.8%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数)*8	1位	5.4%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額)*8	6位	17.4%

\*1 内部管理ベース。国内営業体制の見直しに伴い、14年度より管理区分を変更。13年度実績は、見直し後の管理区分に基づき算出  
 \*2 四半期平残 \*3 月中平残、ストックベース \*4 株式関連、円債総合はSMBC日興証券、ファイナンシャル・アドバイザーはSMFG  
 \*5 出所：トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成 \*6 日本企業関連、海外拠点を含む  
 \*7 事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債 \*8 日本企業関連公表案件、グループ合算

# ■ リテールビジネス / SMBC日興証券の業績

## 銀証連携(個人)

### リテール預り資産残高(SMBC+SMBC日興証券)

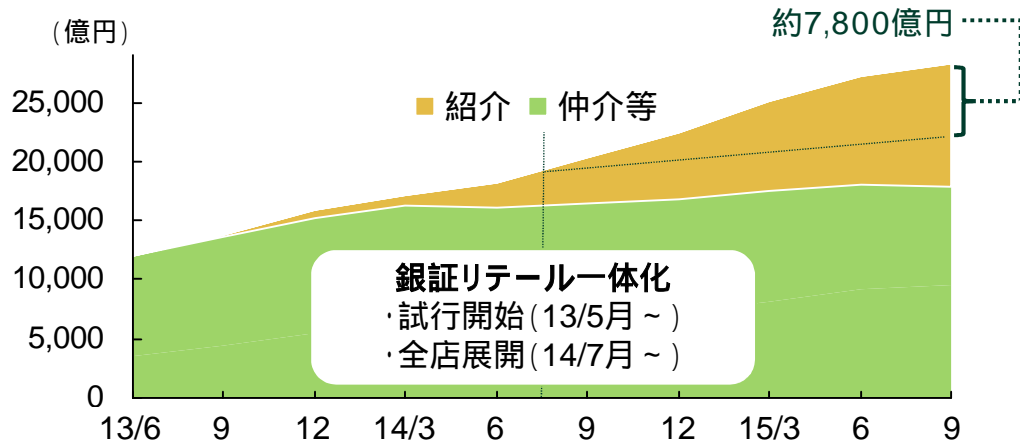


## SMBC日興証券

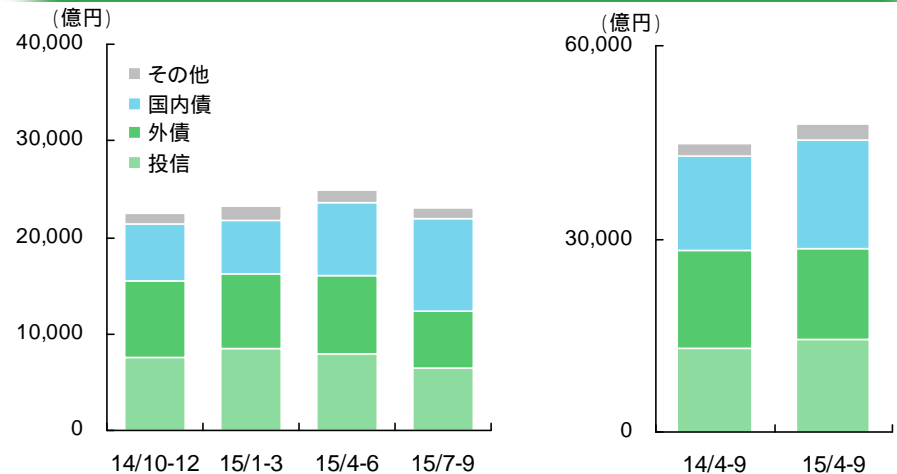
### 業績(連結)

(億円)	14年度 中間期	14年度	15年度 中間期	前年 同期比
純営業収益	1,452	3,292	1,623	+171
販売費・一般管理費	1,100	2,352	1,243	143
経常利益*2	365	962	405	+40
親会社株主に帰属 する中間純利益*2	240	647	294	+54

### 銀証連携による預り資産残高\*1 (SMBC日興証券)



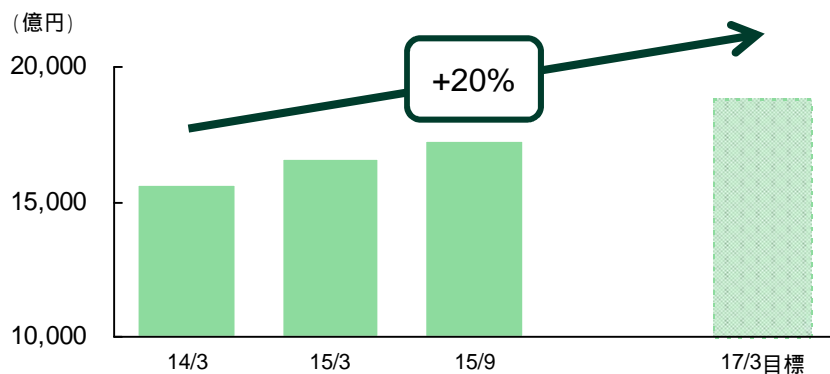
### 商品販売額





# ■ コンシューマーファイナンス

## 無担保カードローン残高 (SMBC+SMBCコンシューマーファイナンス)



## SMBCコンシューマーファイナンス：業績 (連結)

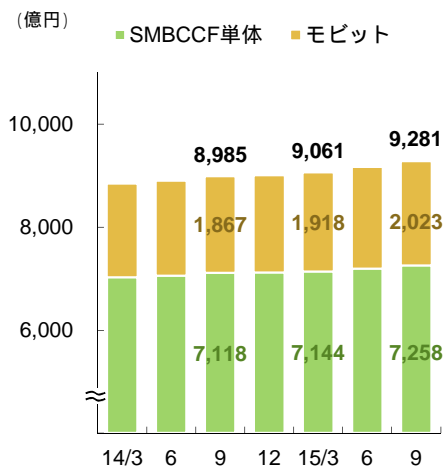
(億円)	14年度		15年度	前年 同期比
	中間期	14年度	中間期	
営業収益	1,122	2,283	1,212	+90
営業費用のうち貸倒費用	267	479	310	43
営業費用のうち利息返還費用	-	448	-	-
経常利益	298	166	293	5
親会社株主に帰属する 中間純利益	275	112	271	4

営業貸付金残高	9,623	9,803	10,088	
利息返還損失引当金	1,171	1,276	965	
保証残高	8,264	9,154	10,069	保証事業 提携先数 189社 (15/9月)
うち地方銀行等向け	3,145	3,724	4,289	

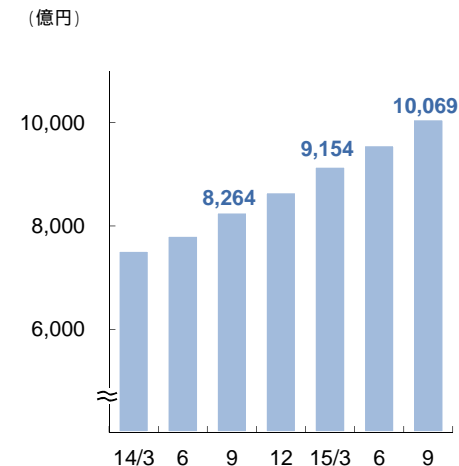
\* 現地通貨建を円換算

## SMBCコンシューマーファイナンス：金融・保証・海外事業

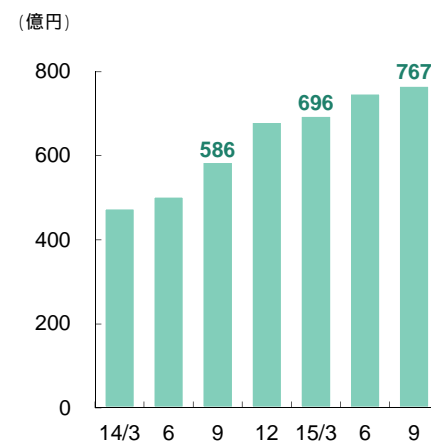
### 営業貸付金残高



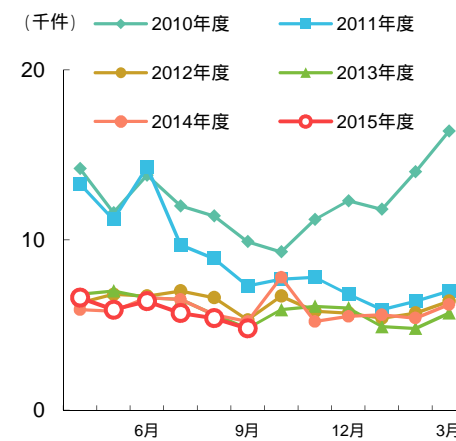
### 保証残高



### 営業貸付金残高 (海外)\*

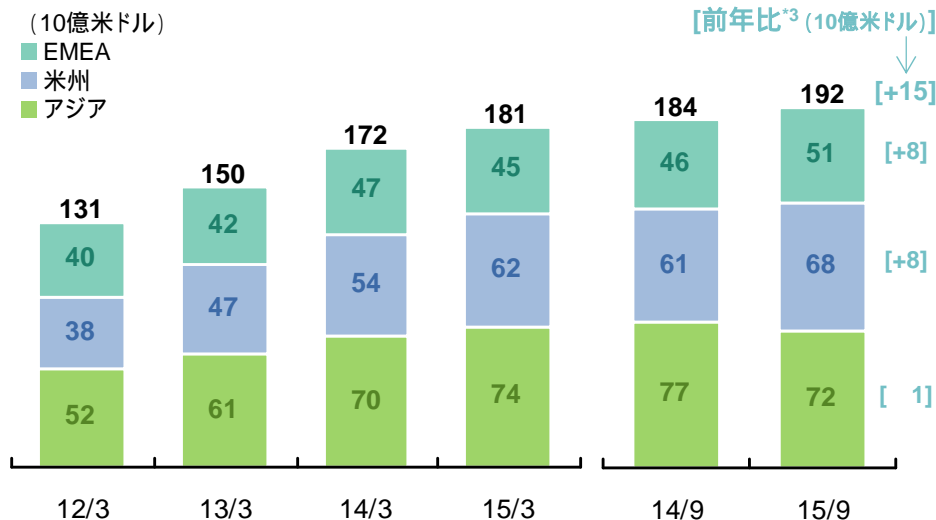


### 利息返還請求件数

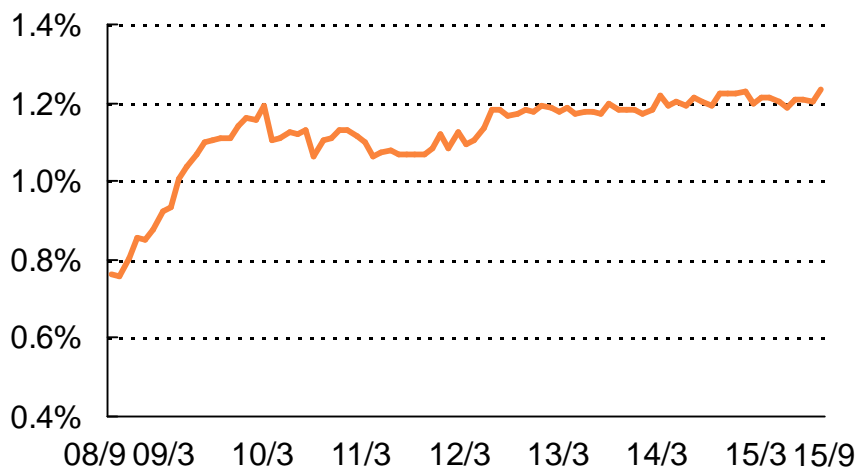


# 海外ビジネス

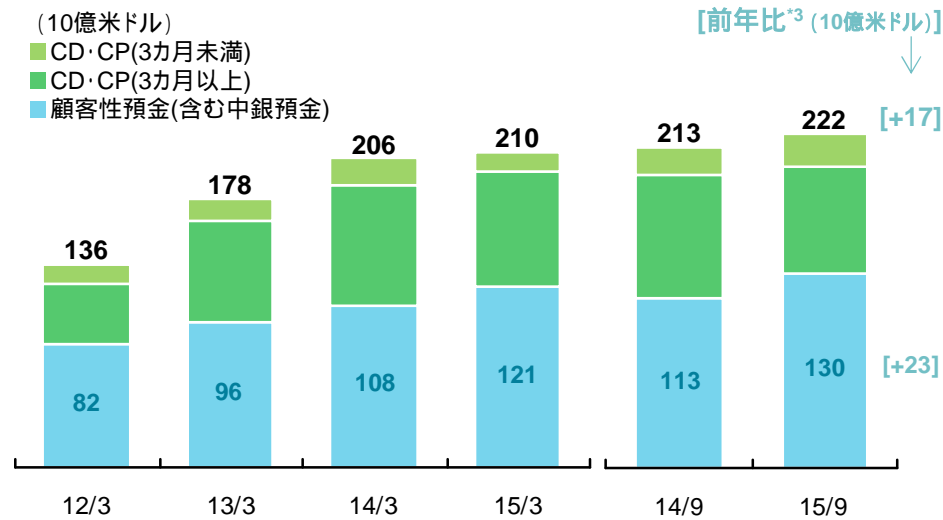
## 海外貸出金残高(含む、貿易手形)\*1, 2



## 海外貸出金スプレッド\*1, 4



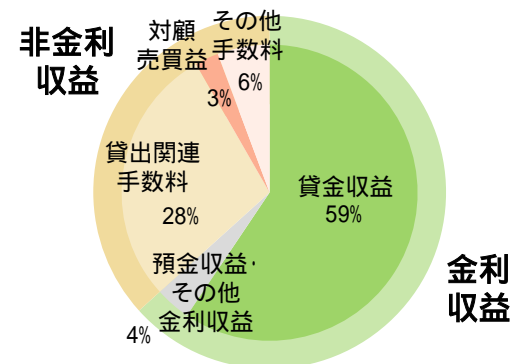
## 海外預金等残高\*1, 2



外貨建債券発行残高*5 (10億米ドル)	シニア		劣後	
	14/3	15/3	14/9	15/9
	19.2	25.1	21.5	28.3
	3.3	4.7	4.9	4.8

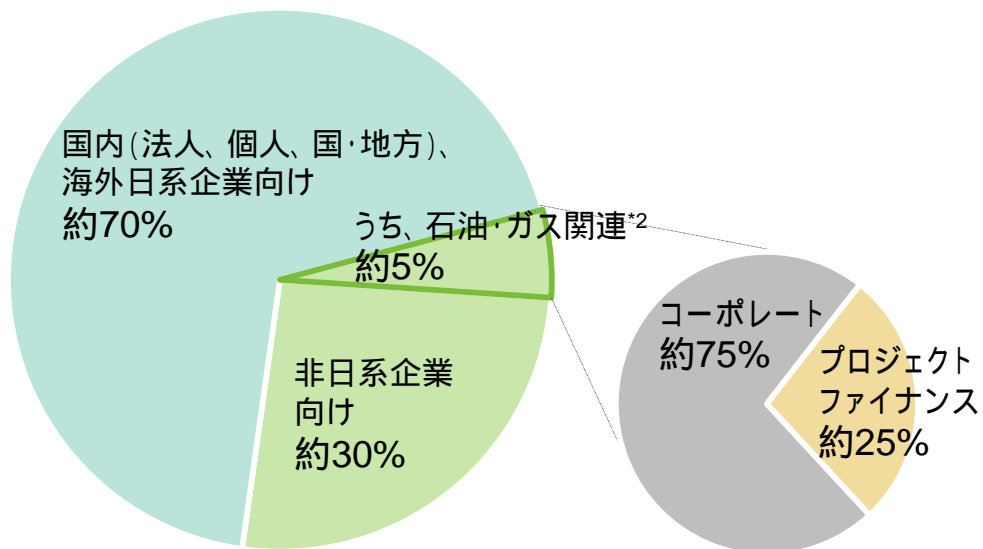
- 海外機関投資家向けに米ドル建シニア債(15/10月、5億米ドル、グリーンボンド\*6)を発行

## 国際部門の粗利益構成(2015年度中間期)\*7



# (参考) 石油・ガス関連 / 中国 / ロシア向けエクスポージャー

## SMFG連結エクスポージャーに占める 石油・ガス関連エクスポージャー<sup>\*1</sup>



- 非日系の石油・ガス関連与信額は15/9月末で約530億米ドル。そのうち、石油メジャーを含む、価格下落影響を受けやすい企業向けの与信額は300億米ドル未満
- 石油・ガス関連与信のうち、約90%が格付「1-3」の高格付先

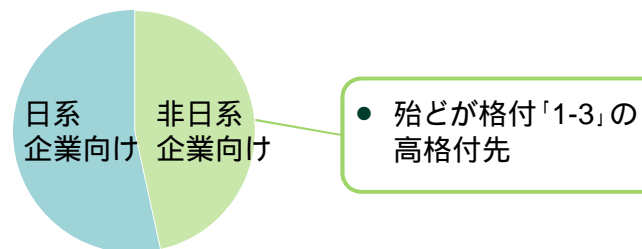
## 中国向け貸出<sup>\*2</sup>

債務者所在国ベース(概数)<sup>\*3</sup>

(兆円)

15/3月末	15/9月末	前年度末比
1.20	1.05	0.15

## 中国本土拠点における貸出先構成



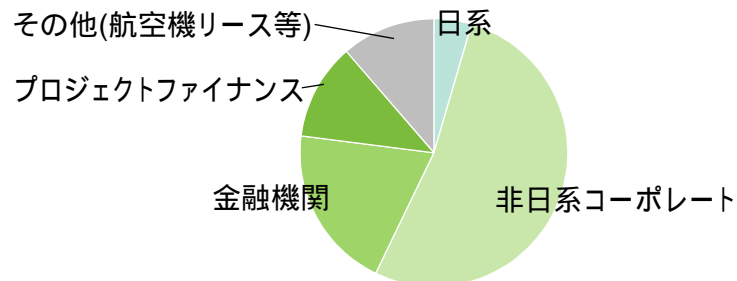
## ロシア向けエクスポージャー

(10億米ドル)

15/3月末	15/9月末	前年度末比
5.1	4.7	0.4

SMFG連結与信額比、1%未満

## ロシア向けエクスポージャーの内訳



\*1 貸出金、保証取引、出資金、株式投資等

\*2 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算

\*3 各期末残高は、15/9月末の期末為替仲値で割戻して表記

# ■ 資本・リスクアセット (SMFG連結)

## 自己資本比率(規制基準)

	(億円)	15/3月末	15/9月末 (速報値)
<b>普通株式等Tier1資本</b>		<b>74,765</b>	<b>76,626</b>
うち普通株式に係る株主資本		69,090	71,957
うちその他の包括利益累計額 <sup>*1</sup>		8,015	6,622
うち調整項目 <sup>*1</sup>		4,604	4,255
<b>Tier1資本</b>		<b>85,286</b>	<b>90,119</b>
うちその他Tier1資本調達手段		-	3,000
うち適格旧Tier1資本調達手段 <sup>*3</sup>		11,243	11,250
うち調整項目 <sup>*1,2</sup>		3,482	3,422
<b>Tier2資本</b>		<b>24,373</b>	<b>26,205</b>
うちTier2資本調達手段		3,750	6,570
うち適格旧Tier2資本調達手段 <sup>*3</sup>		14,240	14,240
うちその他有価証券及び土地の含み益の45% <sup>*2</sup>		6,994	5,578
うち調整項目 <sup>*1,2</sup>		1,652	1,355
<b>総自己資本</b>		<b>109,659</b>	<b>116,324</b>
<b>リスクアセット</b>		<b>661,368</b>	<b>653,646</b>
<b>普通株式等Tier1比率</b>		<b>11.30%</b>	<b>11.72%</b>
<b>Tier1比率</b>		<b>12.89%</b>	<b>13.78%</b>
<b>総自己資本比率</b>		<b>16.58%</b>	<b>17.79%</b>

## 普通株式等Tier1比率(完全実施基準<sup>\*4</sup>(試算値))

	(億円)	15/3月末	15/9月末
規制基準との差異 <sup>*5</sup>		4,412	2,854
うちその他の包括利益累計額		12,023	9,933
うちその他有価証券評価差額金		10,746	8,591
うち非支配株主持分(経過措置対象分)		705	696
うち普通株式等Tier1資本に係る調整項目		6,906	6,383
<b>普通株式等Tier1資本(完全実施基準)</b>		<b>79,177</b>	<b>79,480</b>
<b>リスクアセット(完全実施基準)</b>		<b>659,259</b>	<b>652,182</b>
<b>普通株式等Tier1比率(完全実施基準)</b>		<b>12.0%</b>	<b>12.1%</b>
(参考) 普通株式等Tier1比率(完全実施基準、 その他有価証券評価差額金除く)		<b>9.0%</b>	<b>9.8%</b>

## 15年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

SMFG Preferred Capital JPY 2 Limited 発行	発行 時期	発行総額	配当率 <sup>*6</sup>	任意 償還 <sup>*7</sup>	ステップ アップ
シリーズC	08/12	1,400億円	4.87%	16/1以降	なし
シリーズF	09/1	20億円	4.80%	16/1以降	なし

## レバレッジ比率(規制基準(速報値))

	(億円)	15/9月末
Tier1資本		90,119
レバレッジエクスポージャー		1,958,100
<b>レバレッジ比率</b>		<b>4.60%</b>

## LCR(規制基準)

	15/7~9月平均
<b>LCR</b>	<b>111.2%</b>

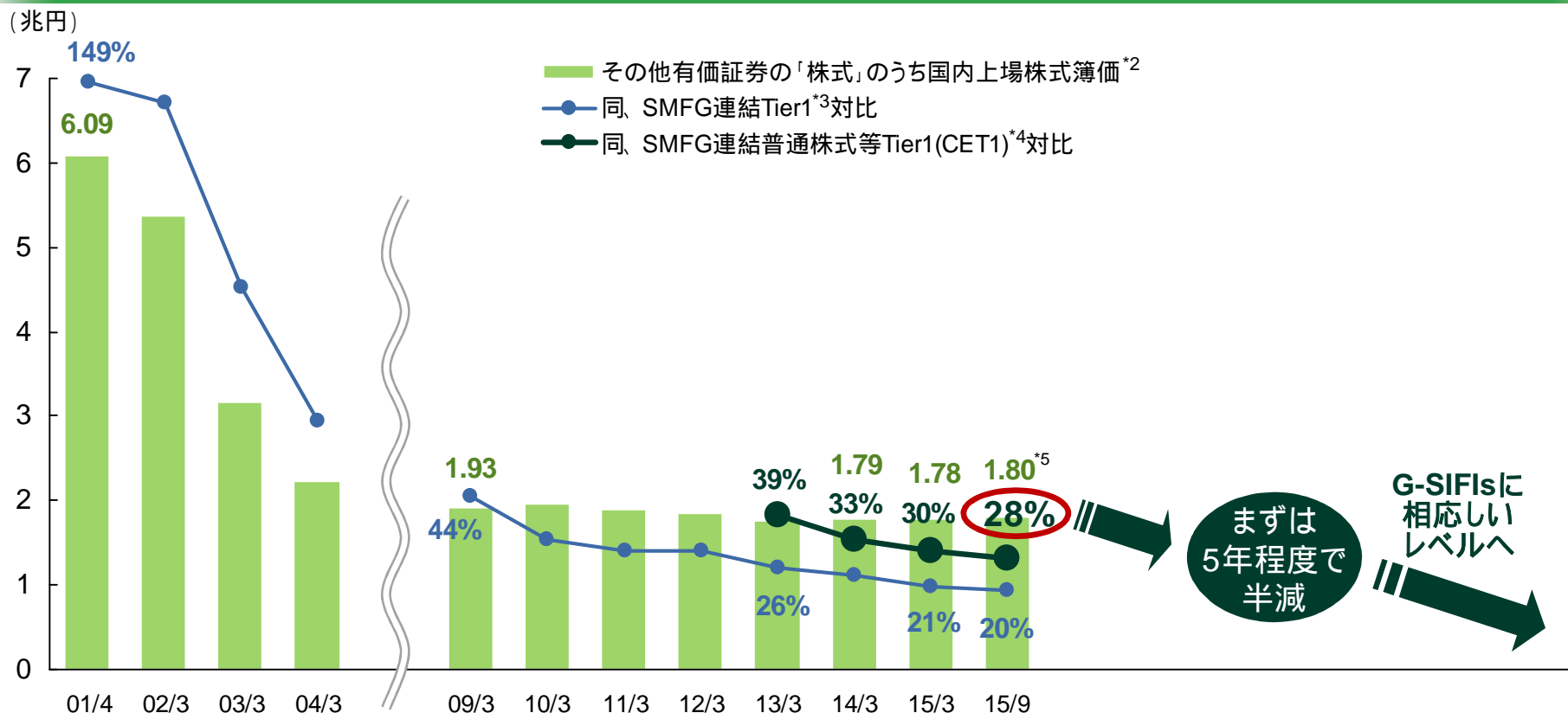
\*1~3 経過措置の対象項目(Tier1及びTier2の調整項目は\*1と\*2の両方の項目を含む) \*1 総額の40%が資本算入  
 \*2 総額の40%分の算入除外反映後の金額 \*3 算入上限70% \*4 19/3月末に適用される定義に基づく  
 \*5 経過措置により総額の40%相当が規制基準で調整されているため、本欄には総額の60%相当額を記載  
 \*6 任意償還日以降の配当率は変動配当率 \*7 予め金融庁長官の確認を受けた上で、各配当支払日に任意償還可能

# 政策保有株式削減

- 財務基盤の更なる強化に向けて、株価変動リスクの継続的な縮減に取り組み、G-SIFIsに相応しいレベルの株式のCET1に対する比率( )を実現するべく、まずは5年程度で株式のCET1に対する比率の半減に目途をつける

( ) SMFG連結ベース 国内上場株式簿価\*1 / 普通株式等Tier1 (CET1)  
 (バーゼル 完全実施基準、その他有価証券評価差額金を除くベース)

## 政策保有株式の残高(SMFG連結)



まずは5年程度で半減  
 G-SIFIsに相応しいレベルへ

# 2015年度中間期のトピックス

## 国内ビジネス

### ホールセールビジネス

- 貸出増強に向けた取組みを推進(「SMBCなでしこ融資」等の評価型融資、M&Aファイナンス、事業承継向け貸出等)
- ロボット、水素、インバウンド等の成長産業支援に向けた業務連携(産業技術総合研究所、Silicon Valley Robotics等)やセミナー開催
- SMBC日興証券が引受業務のリーグテーブル(15/4-9月)において株式関連で3位<sup>\*1</sup>、円債総合で4位<sup>\*2</sup>

### リテールビジネス

- SMBCにおいて、パスワードカード(スマホアプリ版)の提供開始、生命保険申込手続電子化の導入決定等、ITを活用したサービスを拡充
- スマートフォン用ゲームアプリ「SMFG版 人生ゲーム」<sup>\*3</sup>の提供を開始
- SMBC信託銀行が、シティバンク銀行から同社のリテールバンク事業を取得。新ブランド「PRESTIA」として営業を開始(15/11月)
- SMBC日興証券が8年連続、SMBCコンシューマーファイナンスが3年連続、「COPC® CSP規格」<sup>\*4</sup>認証を取得

## 海外ビジネス

- SMBCがヤンゴン支店、マニラ支店を開設。三井住友銀行(中国)が大連支店の開設準備認可を取得
- 欧州三井住友銀行がGEグループより欧州における貸出資産等を取得
- アクレダ・バンク(カンボジア)を持分法適用会社化。インドネシアのオートローン会社2社の株式の一部取得に合意(15/10月)
- SMBCが米ドル建グリーンボンド(資金用途を太陽光発電等、環境に配慮したプロジェクトに対するファイナンスに限定した債券)を発行(15/10月)
- SMBCがIJ Global誌より、Global bank of the yearを受賞(15/10月)

## IT・イノベーション

- GMOインターネット、GMOペイメントゲートウェイと資本・業務提携。決済代行サービスを提供する合併会社を設立(15/11月)
- 新たなリテール金融ビジネスの創出をテーマとするイベント「第1回SMBCオープンイノベーションミートアップ」を開催
- 金融関連技術を用いたイノベーション推進をグループ横断的に強化するため、SMFG・SMBCにITイノベーション推進部を設置(15/10月)

<sup>\*1</sup> ブックランナー、引受金額。出所:トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、グループ合算)

<sup>\*2</sup> 主幹事、引受金額。出所:トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債)

<sup>\*3</sup> SMFG各社(SMBC、SMBC日興証券、三井住友カード、セディナ、SMBCコンシューマーファイナンス)とタカラトミーがタイアップしたスマートフォン用ゲームアプリ <sup>\*4</sup> コンタクトセンター業務の国際的な品質保証規格

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与うるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。